

北方町立幼稚園設立に向けて（案）

2021.5.19

1 園 名 北方町立幼稚園

2 型 幼保連携型こども園

3 規 模（園児数）

0歳児：6人 1歳児：12人 2歳児：18人

3歳児 3cl：48人 4歳児 2cl：48人 5歳児 2cl：48人 計180人

4 保育教育方針

『安心して伸び伸びと遊び、たくましく育ち合うこども園』

（心身の健やかな成長と主体的な遊びを促す環境の中で、友達と共に楽しみながら豊かな体験活動を行い、表現し合うことで、生涯にわたってたくましく生きるための基礎を身に付ける。）

【説 明】

こどもは、乳児の段階から自ら外界から多様な情報を取り入れ、成長していく力を持っています。その力を引き出すために、保育者は、こどもが安心して自分を表現し、伸び伸びと遊べる環境づくりをします。また、こども一人一人の違いをとらえ、その成長に応じて、応答したり、励ましたりして、心身ともに健康に育つようにします。こども達が『安心して伸び伸びと遊び、心身ともに健やかに成長できる園』にすることが、保育の前提だと考えます。

3歳を過ぎる頃からは、言葉の発達が進み、人と関わる力が徐々に育ってきます。多様な経験ができる環境や友達や様々な人と関わる環境を用意することで、知的好奇心や想像力が育ち、人と共に活動する楽しさを体感することが出来ます。こども達が楽しみながら好きな遊びに取り組み、イメージする遊びを実現しようと工夫したり、友達や年齢や立場の違う人達と知恵を出し合う喜びを甘受したりすることができる環境を整えることが生涯にわたってたくましく生きる力の基礎となっていきます。『たくましく育ち合うこども園』を目指します。

（注）『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』P4「教育及び保育の基本」には、園児の生活全体が豊かなものとなるために保育教諭が努めることとして次の①～③の内容が示されています。

- ① 安心と信頼
- ② 主体的な活動の展開
- ③ 一人一人の特性や発達の段階に応じた指導

5 保育教育目標

『心身ともに健康でたくましい子』

【説明】

要領P5の「教育及び保育の目標」には、以下の内容が示されています。

- ・ 『生きる力』の基礎を育成する。
- ・ 義務教育及びその後の教育の基盤を培うとともに、子どもの最善の利益を考慮しつつ、その生活を保障し、保護者と共に園児を心身ともに健やかに育成するものとする。(満3歳未満の園児の保育にも当てはまることに留意するものとする。)

下線の部分から「心身ともに健康で」を、北方町の教育委員会の「めざす姿」から、「たくましい子」としました。

5 保育教育内容（特色等）

外遊びを中心とした主体的な遊びを大切にするとともに、学びの基礎となる豊かな体験活動を展開することが主な特色です。主な内容は、以下の通りです。

「自由遊び」

～ 健康な心と体で、主体的に対象に関わり、追究し、やりきる力を育てます ～

多様な遊びをダイナミックに展開する環境を整え、一人一人が自分に合った遊びを選択し、体全体を使って楽しむことを通して、健康な心と体で、主体的に対象に関わり、追究し、やり切る力を育みます。

「異年齢・異校種交流，地域交流」

～ 人と関わる力を育て、人や郷土を大切にする心を育みます～

園内の同年齢はもとより、異年齢交流、義務教育学校・町内の高等学校との交流、地域の方との交流などを通して、人と関わる力を育み、自分も人も大切にする気持ちを育てます。また、地域行事への参加により、地域に親しみを感じ、郷土を大切にする気持ちを育てます。

「豊かな体験活動」

～ 多様な体験活動を通して知的好奇心を育んだり、表現力を伸ばしたりします ～

四季折々の草花や野菜などを栽培し、収穫の喜びを味わったり、年中行事を楽しんだりするなどの体験活動を通して、自然の摂理を知ったり、文化を理解したりするなどして知的好奇心を引き出します。また、英語や音楽を楽しむ体験や運動遊びなど、心が動く多様な体験を通して感性を磨き、豊かに自分を表現する力を育てます。

「義務教育学校との接続」 ～ 円滑な就学につなげます ～

隣接する義務教育学校との交流を通して、学校生活への理解を深め、意欲を高めることで、円滑な就学へつなげます。

「保護者と共に進める子育て」 ～日々の相談を通して、楽しい子育てを目指します～

保護者との日々の相談を大切に、子育ての目標を共有することで、育児の不安を和らげ、子育てを楽しめるように援助します。